

醫外書目附

和書門			
一七四六三	二二六	二二七	二二八
號	函	架	冊

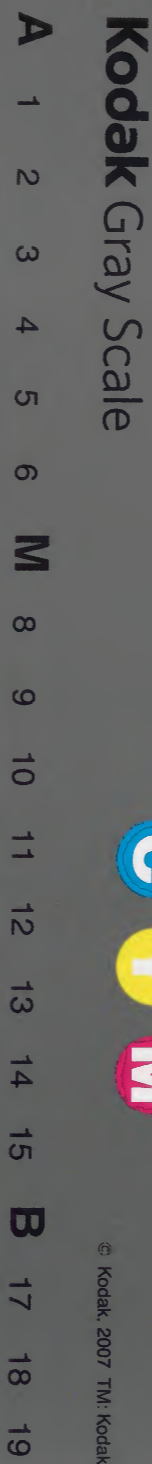
內閣文庫		和書	
一七四六三	二二七	二二八	二二九
號	冊	架	冊

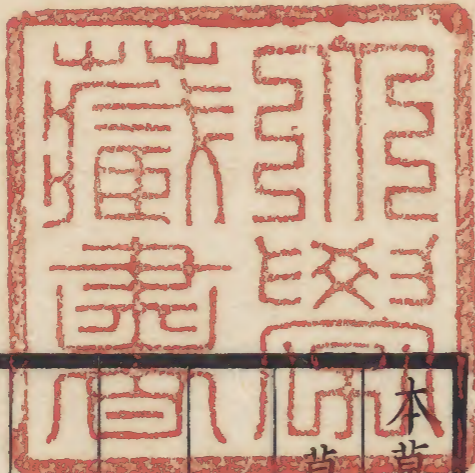
內閣文庫	
番號	和 17463
冊數	27 ( 7 )
函號	264 20

動

本草綱目啓蒙

隱草上 十二





本草綱目啓蒙草部卷之十一目錄  
草之四 隰草類上五十三種

菊

野菊

菴蒿 對廬附

蒼蒿

艾 夏臺附

千年艾

茵陳蒿

青蒿

黃花蒿

白蒿

角蒿

蘆蒿

馬先蒿

陰地厥

牡蒿

九牛草

莞蔚

蘼菜

本草綱目

卷之十一目錄

限芳軒藏

淺草文庫

目錄





本草綱目卷之十一 菊部 一 翳步轉翻

マサリグサ ヨガ子グサ 星見草

カタミグサ ナガツキグサ アキノハナ

アキクサノハナ ヤマシグサ イナテグサ

アツカイグサ以上古歌カワラヲハギ和名今通名

甘菊一名金英本草家菊劉蒙重英種杏

涼蒿菜救荒本草石决群芳譜冷香 朱羸

傅公同上九華現邪陰成生宛委餘編

長生草物理小識笑靨金輟耕錄禽華典藉

延年 貞芳同上

花一名隱逸花撫州府志拒霜通雅木芙蓉霜傑尺牘

東籬客花鳥爭奇佳友事物異名壽客 黃花

帝女花同上延壽客典藉金翹同上

黃鈿蘇氏韻輯黃華先生紺珠五金剛不壞主

配妃同上女郎花靈鬼志

菊花種類多シ大抵二品ニ分ツ藥食ニ用ル菊ト花

ヲ賞スル菊トナリ藥用ノ菊ハ甘菊ナリ本草ニ

説トコロハ此モノヲ指ス甘菊ハ元來色ノ黃白

ニ拘ラズ味甘キ者ヲ用ユ然レ在今本邦ニ傳

ヘ栽ル者ハ皆黃色ナリ和名アマギク又料理ギ

ク在云九月ニ花ヲ開ク大サ寸許或ハ寸餘辦ハ

常菊トチガヒ細筒子ニシテ末五出辦多ク重テ心

ナシ變メ潤辦トナレバ黃色淡クナリテ中ニ小

本草綱目卷之十一 二 續考軒藏

心アリ此菊花葉共ニ苦味ナクシテ食料ニ充ベシ故ニリヤウリギクト云此花藥用ニ良トス今藥舖ノ菊花ハ奥州仙臺ヨリ出ス常ノ黄菊ニノ味苦シ又夏菊ヲ用ル人モコレハ宜シカラズ花ヲ賞スル菊ニハ春夏秋冬ノ分チアリ皆花開ク時ヲ以名クソノ冬菊ハ即寒菊ナリ漏盧ノ條ニ單葉寒菊ノ名アリ秋後花サク葉ニ酒ヲ澆ケバ霜ヲ蒙テ紅紫色ニ染テ美ナリ唐山ニテ賞スル秋菊ハ今ノ中菊ニシテ本邦ニテ賞スル大菊ニハアラズ范成大劉蒙史正志等ノ菊譜及ヒ花史左編群芳譜秘傳花鏡ニ詳ニ載ス和書ニテ

ハ菊經ニ詳ナリ又人家盆玩ニマシキクト云アリ一莖多枝ニメ花甚繁密傘ヲ開クが如シ是數次心ヲ摘去テ多枝ナラシメテ花多キナリ土州ニテアメガシタト云讚州ニテカサギクト云漢名滿天星群芳譜ト云又千瓣黄色ニメ大サ三四分ナルヲコガ子メヌキト云是集解頌ノ説ノ珠子菊ナリコレニモ紅白紫間色數種アリ

野菊

アブラギク センホンギク イハヤギク

一名 薏花抱朴子

山足路旁ニ多シ原野ニハ稀ナリ一科叢生ス苗

高サ三五尺枝ヲ分ツテ最繁シ故ニ千本ギクト  
呼ブ葉ハ花岐多クメ鋸齒密ナリ莖葉淺綠色斷  
レバソノ氣艾ノ如シ秋晩花ヲ開クテ甚多シ單  
瓣ニメ大サ四五分心大ニメ瓣短ク微シク香氣  
アリテ黄色ナリソノ味苦シ故ニ一名苦蕒ト云  
世ニ此草ヲカモメイリトスルハ穩ナラズ蠻書  
ノ圖ニ異ナリ和名ニノギクト呼フモノハ救荒  
本草ノ鷄兒腸ナリ混淆スベカラズ旋覆ニモ野  
菊ノ名アリ

菴藺

イヌヨモギ キクヨモギ 江戸フサヨモギ

一名真珠蓬 藥性 菴蒿 藥性 掩間子 遵生

播州江州山中ニ自生多シ移栽テ繁茂シヤスシ  
宿根ヨリ叢生ス苗高サ二三尺葉互生ス形菊葉  
ノ如シ艾葉ニ似ズ背ニ白毛ナシ斷レバ艾葉ノ  
氣アリ秋ニ至リ穂ヲナシ黄花ヲ開ク花實共ニ  
艾ニ同シ即艾ノ屬ナリ

附録對廬

詳ナラズ

著

アシクサ 古名メドクサ 同上メドギ  
ノコギリサウ ハゴロモ ガンギサウ  
モンホグサ カラヨモギ 勢州

ヤマクサ 江州 同ノコギリバ越前

一名聚雪 代瑠邪 龜藉名物 靈草類書 纂要

種樹家ニ多ク栽ユ宿根ヨリ數十莖叢生ス高サ四五尺葉ハ潤四五分許長サ三四寸細ク深クキレ鋸齒多シテ繁密ニ互生ス夏月莖端ニ小枝ヲ多ク分チ數十百花攢簇シテ蓋ノ如シ一花ノ大サ三四分五六瓣ニ中ニ黄心アリ瓣ハ淺紫色ナリ又紅アリ白アリ白花ノ者ハ野生アリ紅ナル者ハ北土ニ自生アリ是真ノ著ナリコノ草莖正直ニメ枝ナク年ヲ經レバ一根五十莖ニ過グ

凡莖占ヲナスモノハ此莖ヲ用ベシ今ハメドハギヲ代用スメドハギハ救荒本草ノ鐵掃帚拾遺記ノ合歡草一名神草ナリ此草モ一科ニ叢生シテ莖直ナリ葉ハ雞眼草葉ニ似テ細長ク互生ス秋月葉間ゴトニ一花ヲ開ク形胡枝子花ノ如シシテ色白シニ草ノ考ハ別集ニ詳ナリ

艾

サシモグサ ツクロイグサ ヨモギ ヨゴミ モチグサ 加州 フツ 薩州 ブツ 肥前

一名肚裏屏風 録耕 病草異名 半草名物



女麩 物理小識又穀ノ部ニ女麩ノ本條アリ又鼠麩草ニモ女麩ノ名アリ皆同名ナリ

山野ニ自生多シ葉ノ面深綠色ニノ背ニ白毛アリ

リコレヲ乾シ揉寸ハ葉ハ皆碎ケ粉トナリ落チ

背ノ白毛ノミ残りテ綿ノ如シコレヲ熟艾ト云

和名モグサ和方書ニ白葉ト名ク一名艾綿 醫學正因

艾絨 天エ開物 白艾 附方 白熟艾 同土モグサニ製スル

ハ原野自生短小ナルモノ佳ナリ蘇頌モ以苗短

者爲良ト云リソノ海邊ニ生スルモノ殊ニ瘠テ

香多シ故ニ唐山ニテハ蘄州ニ生スルモノヲ上

トス蘄艾ト名ク 本邦ノ淡路モグサニ擬スベ

シ蘄艾ハ今漢種アリ江州伊吹山ノ艾短小ニノ

香氣甚シ故ソノ熟艾最上品トス因テ今モ世人

伊吹モグサヲ上品トスレバ然ラズ今ノ伊吹艾

ハ一名ヌマヨモギ即陸璣ガ毛詩疏ニ説トコロ

ノ萋蒿ニシテ艾ニアラズ苗ノ高サ一丈餘ニノ

葉モ長大ニノ尺ニ過ギ葉背ノ白毛殊ニ多シ故

ニ又ウラジロト呼フ香氣少クシテ艾ト異ナリ

用ユベカラズ

集解 蘄艾ハ蘄州ノヨモギナリ 酒壘ハサカツ

ボナリ 附録 夏臺 時珍ノ説ニ從フベシ 正字通ニモ艾

ノ一名トス

千年艾

詳ナラズ

此草大和山ノ名産ナリ大嶽大和山志ニ載ス

集解 羽流ハ仙術ヲ學フ者ヲ云

茵陳蒿

カハラヨモギ 青蒿黄花蒿ニモコノ名アリ混ズベカラズ

子ズミヨモギ コギ 遠州 フナボウキ 藝州

ハマヨモギ 加州 イヌヨモギ 和州同 名アリ

一名 董蘆 正字通 著蒿 同上 加外左只 郷藥 本草

加外作只 村家方 加火老只 月令 採取

山野共ニ自生多シ山ニアルヲ山茵陳ト云野ニ

アルヲ野茵陳ト云家ニ種テ藥用ニ供シ食料ニ

入ルヲ家茵陳ト云別種ニ非ズ生スル所ニ因

テ名異ナリ本邦ハ山野ノ二ツノミニノ家茵

陳ハ稀ナリ初ニ生スル葉ト莖上ノ葉ト形色異

ナリ秋ヨリ春マデノ間ニ地ニ就テ叢生ス青蒿

葉ニ似テ白毛多シ故ニ此嫩ナル時ヲ白蒿ト名

ク頃ノ説ニ階州一種白蒿一似青蒿而背白ト云

是ナリ救荒本草ニ白蒿ト云モ茵陳蒿ノ嫩葉ヲ

指ス本條ノ白蒿ト同名異物ナリ春以後漸ク莖

ヲ抽テ高サ二三尺ニ至ル葉互生ス形漸ク細ク

ナリ梢ニ至リテ愈甚クノ絲ノ如シ狀茴香葉ニ

似タリ深綠色ニシテ白毛ナシ梢葉ノ岐八方ニ分  
ル故ニ八角茵陳ト云夏秋ノ間枝梢葉間ゴトニ  
花ヲ生ス甚密ニシテ後ニハ穂ノ如クナル花ハ艾  
ノ花ニ似テ至テ小ク色白シ秋深テ苗枯ル實熟  
シ落テ自生ス其莖ノ本ハ枯レズ更嫩葉ヲ生  
ス又根ヨリモ新葉ヲ生ス皆白毛アリテ細ナラ  
ズ茵陳ハ莖根共ニ枯レズ陳莖ニ因テ再葉ヲ生  
ス故茵陳ノ名アリ青蒿ノ莖根共ニ枯ルニ異  
ナリ藥舗ニ賣ルハ多ク青蒿ヲ混ズ又神麴ニ用  
ル青蒿ニモ茵陳雜ルニ草ノ梢葉似タル故ナリ  
宜ク分別スベシ

集解 蓬蒿ハコウライギク 紫薑ハ生薑ノワ

カ根ナリ

青蒿

カハラニンジン ノニンジン カラヨモギ  
ノラニンジン 丹波ヤブニンジン  
クサニンジン 和州クサヨモギ  
山中ニ生セズ江河及ビ海邊ニ多シ秋月子落テ  
自ラ苗ヲ發ス初ハ地ニ就テ叢生ス葉ハ胡蘿蔔  
葉ニ似テ毛茸ナク深綠色微臭アリ冬枯レズ春  
ニ至リテ臺ヲ抽ズルノ高サ三五尺ニ至ル枝葉  
共ニ互生ス葉ノ形漸ク細クナリ梢ニ及テハ絲

ノ如シテ茵陳ノ梢葉ニ似タリ脚葉ノ形ト大ニ  
 異ナリ色ハ始終深緑ナリ夏月枝末葉間ゴトニ花  
 ラ綴ル繁密ニシテ穂ノ如シ花ノ形ハ天名精ノ  
 花ニ似テ小ク黄蘗多クアツマリ大サ一分餘後  
 蒂中ニ細子ヲ結ビ苗根共ニ枯ル青蒿ハ此類ノ  
 中最早ク枯ル神麴ニ用ユル青蒿ハ此草ヲ用ユ  
 ベシ然レ凡世上ニ青蒿ト云ハ多ハ次ノ條ノ黄  
 花蒿ニノ真ニアラズ青蒿ノ花ハクソニンジン  
 ヨリ大ニノ黄蘗多ク出黄花蒿凡云ヘキニ似タ  
 リ故ニ誤テ青蒿ヲ黄花蒿トシ黄花蒿ヲ青蒿ト  
 ス今藥舗モ誤ヲ同フス且ク辨別スベシ花小ナ

ルモノハ黄花蒿花大ナルモノハ青蒿ナリ宗奭  
 フ説ニ夢溪筆談ヲ引キ一種黄色一種青色ト云す黄花  
 蒿モ青蒿ノ中ナル故通シ用ルモ妨ナシトイヘ  
 白青蒿ニハ必カハラ人參ヲ用ルヲ真トス  
 黄花蒿青蒿ノ中ナル故通シ用ルモ妨ナシトイヘ  
 正久夢溪筆談カラヨモギ  
 集バカニシジン津輕ゴギヤウ常州  
 カラヨモギ同上  
 ゴムケ攝州  
 一名黄蒿序例又鼠麴草地膚共ニ黄蒿ノ名アリ  
 又卓氏藻林ニ蒿類ノ秋ニ至リ枯レテ  
 黄色ニナルヲ黄蒿  
 下云是皆同名ナリ



河邊沙地ニ多シ又人家ニモ自生ス青蒿ヨリハ  
葉細ニシテ花又多クシテ細カク色黄ヲ帶テ青蒿  
葉ノ深綠色ナルニ異ナリ葉ノ色黄ヲ帶ビテ花  
岐多キ故ニ黄花蒿ト云花ノ色黄ナル故名ルニ  
非ス葉ノ形色始終變ゼズ臭氣強シ苗ノ高サ三  
五尺花實ハ青蒿ヨリ後レ細小ニシテ茵陳蒿ニ似  
タリ青蒿ノ花實ニ異ナリ

白蒿

シロヨモギ  
一名白蓬大倉志白艾蒿附方旁勃埤雅  
游胡同上茵陳蒿通志畧山茵陳同上

游湖 通雅

佐渡河原田ノ海濱ニ産ス奥州ニモアリ他州ニ  
移シ栽ヘテ繁茂シヤスシ苗及花實ハ常艾ノ形  
狀ニ同シ葉ハ菴蘭葉ニ似テ厚ク面背共ニ白毛  
多シ艾葉ノ面青背白ニ異ナリ其香氣モ亦同ク  
ラカ  
集解左傳ハ隱公三年ニ出ツ 蘋ハ田字草 蘩  
ハ白蒿即本條ナリ蘊藻ハ即聚藻フサモ一名キ  
ンギヨモ 牛尾蒿ハ詳ナラズ  
角蒿

詳ナラス

一名猪牙菜 救荒本草 山茵陳 本經逢原

蘇恭ノ説ニヨリテフナデシコニ充ル古説ハ

穠ナラズ又今上州信州ノクダラグサニ充ル説

アレ厄角ノ長サニ寸許ト云子似王不留行ト云

ニ合ズ

集解 紅蒿ハ詳ナラズ邪蒿ハ菜ノ部ニ本條アリ

和名 ヤマニンジン

藎蒿

キツ子アザミ センボンヤリ

ヒメアザミ 播州

一名 蘇蒿 正字通 泥胡菜 救荒本草

夏後子落テ秋ニ至テ自ら生ス初ハ地ニ就テ叢

生シ蒲公英ノ生スルカ如シ葉ノ形ハ小薊葉ニ

似テ面深綠色背ニ白毛多シ質軟ニ刺ナシ春

ニ至リテ漸ク莖ヲ抽テ高サ三五尺瘠地ノ者ハ

苗小ナシ漸ク地ニテ葉肥大ナリ枝葉共ニ互

生ス四月枝末ニ淡紫色ノ花ヲ生ス形大薊

花ノ如シ小ナリ又白花ノモノ稀ニアリ俱ニ

花後絮トナリ飛ビ落ル處ニ生シ苗根共ニ枯ル

貝原翁ノ説ニヨメテ藎蒿ニ充ツルハ非

ナリヨメテハ救荒本草ノ雞兒腸ナリ

集解 斜蒿ハ即邪蒿ナリ 萋蒿ハヌマヨモギ即

馬先蒿 イ吹艾ナリ

シホガマギク

一名虎麻莞蔚 本草

山中ニ多シ生ス向陽溪側ニ多シ春宿根ヨリ苗ヲ

生シ高サ二三尺葉形榆葉ニ似テ長ク岐深クシ

テ細鋸齒毛茸アリテ枝葉繁布ス八月葉間ゴト

ニ花アリ大サ六七分豆ノ花ノ形ニモ壓扁スル

ガ如シ紅紫色花後ニ小扁莢ヲ結ブ長サ二三分

ニノ尖レリ内ニ細子アリ又別ニ一種花相似テ

小ク葉ハ陰地厥ノ葉ニ似テ薄軟ニモ毛茸アリ

テ子バルモノアリ小シホガマギクト云

集解 莪ハ莪蒿即角蒿ノ一名

陰地厥 醫學正傳ニ

ハナワラビ カタワラビ 和州カゲワラビ

冬ワラビ トコワラビ 越後

一名地茶 醫學正傳

陰地ニ生ス山野共ニアリ秋前舊根ヨリ葉ヲ生

ス形蕨葉ノ如ニ至テ小サクノ厚シ大サ五寸

許深綠色一根一葉肥タルモノハ二葉ヲ生ス又

小葉ナルモノ大葉ナルモノアリ共ニ別ニ一莖

或ハ二莖ヲ抽ダ高サ一尺許梢ニ枝ヲ左右ニ分

千粟粒ノ如キ者多シ綴ル初ハ綠色漸ク黄色ニ  
 變シ黄粉ヲ出ス是其花ナリ粉落盡春ニ至テソ  
 ノ穂枯ル冬寒氣甚シキ年ニハ早ク枯ル夏ニ至  
 レハ葉モ亦枯レ根ノ殘ル根ノ形杜衡ニ似テ  
 微シ粗シ又一種夏ノハナク秋ニ生ス一  
 根一莖高サ一尺ニ生ス春舊根ヨリ苗ヲ生ス  
 一葉一莖高サ一尺許其梢ニ葉アリ常ノ陰地  
 厥ヨリ細ニシメワラビノ如シ葉ノ中間ニ  
 一莖ヲ抽ク長サ三寸許梢ニ穂ヲ為シ金粟  
 ヲ綴ル常ノ陰地厥ト同シ根形モ同シ花ハ  
 四月ニ開キ秋ノ初メニ枯ル根ハ年ヲ歷テ  
 枯レズ

牡蒿

オトコヨモギカヲヨモギ江州  
 越後ニテハ七月ノ聖靈  
 此莖ヲ用テ箸トス  
 奥州

山野ニ多シ葉少形細長ニシ末ノ方微シヒラ  
 キ汚深キ細鋸齒多シ然レ葉頭尖リナクシテ  
 切リツロハタルガ如シ故ニ齊頭蒿ノ名アリ春  
 以後漸ク莖ヲ抽テ高サ二三尺葉密ニ互生ス深  
 綠色脚葉ニハ白毛アリ梢葉ニハナシ夏月枝ノ  
 末ゴトニ小黄白花ヲ開キ末ハ穂ノ如シ形茵陳  
 蒿ノ花ニ似タリ子モ亦相似タリ秋ニ至リ熟ノ



本草綱目卷之十一 雜考

莖枯ル直ニ根止ヨリ新葉ヲ叢生ス此草莖直立  
ス故仁著ニ代用ユル人アリ

附方 滴滴金ハ旋覆花ノ一名

九牛草

詳ナラズ

伊吹ヨモギニ充ル古説ハ穩ナラズ伊吹ヨモギ

ハヌマヨモギトモ呼ブ即萋蒿ナリ既ニ艾ノ條

ニ詳ニス

莞蔚

メハジキニガヨモギ 益母草 通名

一名 千層塔 醫宗 臭鬱草 夏枯草 負擔 附方

透骨草 救荒 本草 天芝麻 鬱臭苗 同上

目非也 叱 鄉藥 本草 野蘇子草 訓蒙 反魂丹 儋州

小胡麻 必讀 本草 蕒 通雅

自生ノモノ原野ニ多クアリ秋中落テ自ラ苗

ヲ生ス初ハ地ニ就テ叢生ス葉形圓形ニ岐多ク

草烏頭葉ニ似テ薄軟ニ毛茸アリ春以後ハ莖

ヲ抽テ漸ク高ク五六尺ニ至ル莖四稜ニノ大麻

莖ノ如ク葉對生ス莖上ノ葉ハ漸ク長ク柄ノ葉

ハ艾葉ノ如クナリ脚葉ハ形圓ナルニ異ナリ夏

秋ノ間葉間ゴトニ節ニ多ク並ビテ花ヲ開ク大

サ三四分淡紫色ニシテ微ク紅色ヲ帶ズ形積雪草

本草綱目 卷之十一 雜考 十四 報芳軒藏

本草綱目 卷之十一 藥部 四粒 花ノ如シ花後實ヲ結ブ萼ニトニ四粒アリ集解  
 之如同蒿子ト云ニヨク合ヘリ即菴蔚子ナリ  
 ノ形小長ニシテ四稜アリ唐山ヨリコレニ巨勝子  
 小名テ渡ス漢渡ノ偽物ナリ巨勝子ハ烏麻子ナ  
 リ故巨勝子圓ニハ烏麻子ヲ用ベキコトナルニ世  
 上ノ賣藥巨勝子圓ニ多ク菴蔚子ヲ用ルハ舶來  
 ノ巨勝子偽ナルニヨリテ誤ルナリ時珍モ藥肆  
 往往以作巨勝子貨之ト云本草必讀ニ近世以菴  
 蔚子爲小胡麻遂竟稱巨勝以訛傳訛不可勝言ト  
 云巨勝ハ菴蔚ニ非ルコト明ニ辨ゼリ又胡麻集解  
 ニ詳ナリ然ルニ本草新編ニハ巨勝子非胡麻ト

云ハ大ナル誤ナリ藥肆ニ賣ルモノ皆和産ナリ  
 苗ヲ益母草ト云ヒ實ヲ菴蔚子ト云苗ヲ賣ルニ  
 多ク鐵刀ニテ剉テ乾カス然レモ此草ハ銅鐵共  
 ニ忌ム故ニ自製ノ用ユルニシクハナシ  
 集解黃麻ハ大麻ノ一名ニシテアサナリ 鼠尾花  
 ハ鼠尾草ノ花ニシテ秋ノタムラサウナリ ミソ  
 ハギニ充ツルハ誤ナリ天麻ハオニノヤガラ  
 ナリ  
 斬金菜  
 一名天麻草 白花ノ菴蔚雜草  
 類五母麻ノ條  
 兩説アリ藏器ノ説ハキセワタト呼草ナリ時珍

本草綱目 卷之十一 藥部 十五 根 芍药 藏

ノ説ハ白花ノ益母草ナリ藏器ノ説ヲ優トスキ  
セワタハ江州伊吹山ニ多シ移シ種ヲ繁茂シ易  
シ春舊根ヨリ苗ヲ生ス方莖高サ四五尺脚葉ハ  
益母草ノ葉ニ類ノ厚クノ毛アリ梢葉ハ漸ク變  
ノ續斷葉ニ似リ皆節ニ對シ生ス秋ニ至テ節ゴ  
トニ花ヲ開ク形續斷花ヨリ大ニシ毛アリ淡紫  
色又白色ノ者アリ花後萼内ニ四子ヲ生ス芫蔚子  
ヨリ大ナリ四稜ニシ白花ノ益母草ハ形  
狀常ノ益母草ト同シ唯白花ナルヲ異トス

薇術

一名薇術通雅 獨搖同上同名者數種通雅ニ獨搖有八一卷活一鬼白一鬼

督郵一天麻一薇術一白揚一移揚又媚藥有無風獨搖草又抱朴子云獨搖芝ト云フ獨搖芝ハ天麻ノ一ナリ

薇術ハ總名ナリ大吳風草小吳風草ノ二種ニ分  
ツ大吳風草ハ俗ニ張良草ト稱スルモノナリ此  
草本名朝弄草ナルヲ誤テ張良草ト云京師相國  
寺鳳瑞軒ノ僧秀周入唐ノ時此種ヲ取歸リ菴後ニ  
種テ朝弄ス本ト鍾馗ノ墓ニ生スルニ因テ鍾馗草ト  
云ト結聒錄ニ見ヘタリ今ハ山中ニ自生多シ葉形鬼  
兒傘葉ニ似テ大ナリ故ニ和州方言ニ此草ヲモ  
ヤブレガサト云濃州ニテタイミンガサト云春  
舊根ヨリ數葉ヲ叢生ス漸ク圓莖ヲ抽テ高サ四  
五尺二三葉ヲ互生ス夏月莖ノ梢ニ多ク枝ヲ分

本草綱目 卷之十一 蕪方軒藏

本草綱目卷之十一  
 千花ヲ開ク橐吾花ノ形ニ似テ大サニ寸餘瓣心  
 共ニ黄色ナリ萼モ亦橐吾ニ似テ大ナリ一種苗  
 小ナル者アリ樊噲草ト云此ハ莖ニ斑ナシ張良  
 草ニハ黒斑アリ又一種樊噲草ノ紫莖ナル者ア  
 リ形状ハ異ナラズ大和本草ニハ大ナルヲ樊噲  
 草トシ小ナルヲ張良草トス兩説ナリ何レニテ  
 モ大小通シテ大吳風草ナリ小吳風草ハ救荒本  
 草ニ載トコロノ兎兒傘ナリ和名ヤブレガサ救  
 荒ノ圖ニ能合ヘリ深山幽谷ニ多生ス嫩ナル者  
 ハ一根一葉ニ破レタル傘ヲ張レル形ノ如シ  
 年ヲ經ルト久シキモノハ別ニ莖ヲ抽ル一二三

尺二三葉互生シ秋ノ初莖端ニ長穂ヲナシマハ  
 ラニ花ヲ綴ル花形鬼督郵ノ花ニ似タリ黄白色  
 ニ之微シク淡紫色ヲ帶ブ熊谷道詮ノ薇衙考證ハ  
 圖モ又以テ詳ニ辨ス草木辨疑ニ大吳風草ヲ張  
 良草トシ小吳風草ヲ樊噲草トスルハ穩ナラズ  
 附録無心草時珍ノ説ニ從ヒ本條ト同物トスベ  
 シ本ノ前ナリ全錄本草ノ外ニハ別ニ有リ

夏枯草 和名 十二重  
 一名血見愁 古今醫統 猪屎草 本草 云鸞蜜 採取  
 四牛鬪草 藥性要 鸞矣蜜 本草

本草綱目卷之十一  
 十七  
 長行子藏

山中陽地ニ生ス方莖紫色高サ三五寸葉ハ旋覆  
 花、葉ハ似テ粗鋸齒アリ又金瘡小草葉ニ似テ兩  
 對ス莖葉ニ白毛多シ三四月莖頭ニ穗ヲ成シ小  
 夏ハ花密ニ綴ル一二三寸花大サ三分許五瓣ニ  
 ノ本ハ筒ナリ金瘡小草花ニ似タリ色白ク淡  
 紫色ヲ帶ズ又紫碧花白花ノ者アリ花終レバ萼  
 中ニ小子四粒アリ熟メ苗枯ル乃夏至ノ候ナリ  
 故ニ夏枯草ト名ク苗枯ルレハ直ニ根ヨリ新苗  
 ヲ生ス春ノ苗ヨリ長大ナリ冬寒ニ逢テ枯ル冬  
 至ヨリ新苗ヲ發シ花ヲ含ミ春ニ至テ開ク古ニ  
 リニウツホグサヲ以テ夏枯草ニ充ツ今藥肆ニ

賣ル所ノ夏枯草皆ウツボグサナリ然レバウツ  
 ボグサハ滁州夏枯草ニシテ真物ニ非ズ稻先生ノ  
 説ニモ夏枯草ハウツボグサニ非ズ用テ効ナシ  
 ト大和本草ニ載スウツボグサハ一名スイクハ  
 ナ江州スイク同上スイバナ佐州スモトリ濃州  
 ウシボクト長崎ヒガラシ豫州シビトバナ和州  
 シビトノマクラ同上狐ノマクラ同上ウバチコ  
 奥州ウバノチ同上トリゲグサヤリバナマ  
 ツカサグサ雲州山野甚多シ四時葉アリ形チ薄  
 荷葉ニ似テ微夫リ鋸齒淺シ冬ハ地ニ就テ叢生  
 ス春已後方莖ヲ抽テ高サ二三寸葉兩對ス五月

ニ至テ六七寸上ニ穂ヲ出シ深紫色ノ花ヲ開ク  
一ニ寸許韃韋ノ形ニ似タリ又深紫色ニ青ヲ  
帯ルモノアリ又淡紫色深紅色淡紅色白色ノモ  
ノアリ此草夏枯レズ夏至以後始テ花アリ夏枯  
草ノ名ニ稱ハス然レモ効用ハ近少代用スル故  
ニ滁州夏枯草ト云

劉寄奴草

ハンゴンサウ マ子アサ奥州タツミアガリ花

一名六月雪藥性奇方 六月粟古統今 鴨脚南寧府志

大葉蒿子揚州府志 九里光遵生入牋

自然生ハ東國ニアリ人家ニモ多ク栽ユ春宿根

ヨリ苗ヲ生ス莖ノ高サ四五尺葉ハ五枝アリテ  
艾ノ梢葉ニ似テ厚大糙澀ニノ邊ニ細鋸齒アリ  
互生ス七八月莖頭ニ多ク小枝ヲ分テ單瓣ノ花  
ヲ開ク紫菀花ノ形ニ似タリ大サ五六分黄色黄  
心後白キ絮ヲ成スコレ時珍ノ説クトコロノ劉  
寄奴草ナリ蘇頌ノ説ク所ノ劉寄奴草ハ俗名キ  
ンクハ一名アキノキノサウナリ山野ニ極テ  
多シ苗ノ高サ一二尺葉ハ鷄兒腸葉ニ似テ色深  
シ莖紫黑色秋ノ末小黄花枝ニ滿テ長穂ヲナス  
觀ニ堪タリ又救荒本草ニ載トコロノ野生薑ハ  
此金花ノ菊葉ナルモノヲ指ス葉ニ岐多シテト

キハギクノ葉ノ如シ和産モアリ皆時珍ノ説ト  
ヨロト同カラズ又漢種ノ劉寄奴アリ葉ト形金  
花葉ニ似タリ花モ相似テ小ク色白ト集解ニモ  
花色白シト云金花ニ白花モアレハ漢種ト少  
シ異ナリ然レハ金花モ金瘡ニ効アル故亦種  
ノ劉寄奴草ナリ又ヲトギリ草金瘡ヲ療スルノ  
効相似ルヲ以テ古來劉寄奴ニ充ツルハ大ナル  
誤ナリヲトギリ草ハ小連翹ナリ正ニ金瘡  
曲節草

一名六月冷三才圖會

和産詳ナラズ俗ニメゴシツト呼モノ此ニ近シ

其草ハ樹下陰地ニ生ス莖ハ細クメ方ナリ葉ハ  
節ニ對メ生ス形チキツ子ノマゴト葉ニ似テ長  
ク深綠色ニ光アリ高サ六七寸或ハ一尺許夏  
ノ末枝稍ゴトニ淡紅花ヲ開ク長サ四五分本ハ  
筒ニシテ末ハ五分大抵益母草ノ花ノ如シ花  
後小莢ヲ結ブ長サ三四分花實皆兩小葉アリテ  
之ヲ挾ム根ハ冬枯セズ

詳ナラス

雀舌草モ麗春草ト云ヒナゲシニモ麗春花ノ名アリ  
皆同名ナリ

本草綱目 卷之十一 二下 根方干藏

〔釋名〕九仙子 詳ナラズ蔓草類ニ本條アリ

旋覆花 花の葉の裏に白毛ありて

ノグルマ ノグルマ キツ子ノタバコ 越後

一名盛楮 本經證類本草 滴漏花 花左編 滴漏金

金錢子 同上 謝落金 同藥園 滴露金 同上

野油花 附方 飛天藥 録耕 野金錢 藥性要畧大全

六月菊 類書纂要 艾菊 群芳譜 滴露菊

艾菊 同上 疊羅黃 同上 滴露 大倉志

原野園圃間甚多シ最繁殖ス一タビ種レズ其年

花ヲ生セザレバ翌年ハ甚多ク生ス故ニ滴滴金

ノ名アリ此葉ノ露水滴下スル處ニ苗ヲ生ズト

云ノ意ナリ然レバサニハアラズ鬚根蔓ノ如ク

延テソノ末ニ皆苗ヲ生スル故繁茂スルナリ葉

ハ細長クシシ鱧腸葉ニ似テ微毛アリ苗高サ二三

尺葉五生ス夏月莖梢ニ枝ヲ分テ花ヲ開ク單瓣

ニシテ大シ錢ノ如シ黃心形菊花ニ似テ瓣甚細シ

又筒瓣ナルモノアリ又千瓣ナル者アリ又千葉

ニシテ小ナルアリシナノギクト云コレハ葉モ狭

細ナリ時珍ハ自生ノ者ハ單葉人家ニ種レハ千

葉トナルト云非ナリ單葉千葉別種ナリ

〔釋名〕註酉陽雜俎ヲ引テ金錢花ト云者ハ今ノ午

時花一名子午花ニシテ旋覆花ニ非ス金錢花ノ同

本草綱目 卷之十一 二二 根坊軒



名ニ因テ誤テ此條ニ引キ入ルナリ宜分別スベ

シ午時花ハ花錢ヨリ大ニ五瓣ナリ午ニヒラ

キ子ニ落ツ故ニ又夜落金錢群芳譜云春子ヲ下

シテ生シ秋花ヲ開キ冬ハ苗根共ニ枯ル

青箱

アマサク和名ノゲイトウイヌゲイトウ豫

キツ子ビ攝州ノビキヤシ同上イヌノオ防州

一名雞冠菜救荒本草還腫子醫學正傳青囊子品字箋

白蔓月阿比本草蔓月阿彌村家

ノゲイトウノ名アレ氏常ノ雞冠花ノ野生シタ

ルニ非ズ別ニ一種アリ春後苗ヲ生ス一根一莖

直上ス高サニ二尺或ハ五七尺圓葉互生ス雞冠

花葉ニ似テ淡綠色又瘠地ノ者ハ狭小ニトシガ香椒

葉ニ似タルモアリ夏ノ末枝梢ゴトニ穂ヲ出不

形圓細長サ三五寸小花密布シテ長筆頭ノ形ノ

如ク大サ指ノ如シ色白クノ尖ニ淡紅色アリ故

ニキツ子ビノ方言アリ一種穂末淡黃色ナルモ

ノアリ黃花ノ青箱ナリ花後實ヲ結ブ圓扁ニシ

極テ小クノ雞冠花子ニ似タリ黒ク光リ漆ノ如シ

是藥用ノ青箱子ナリ實熟ノ苗根共ニ枯ル

附録桃朱術 蕭炳說トコロノ陶朱術ハ黃花ノ

青箱ナリ陳藏器說トコロノ桃朱術ハ紫莖ナリ

本草綱目卷之十一 雜考 雞冠

和名ムラサキクマシ佐州ハゲ

鴈來紅ハゲイトウハゲイトウノ内ニ

イトウニ數種アリ鴈來紅ハハゲイトウノ内ニ

ラ脚葉ノ色紫ニシテ秋ニ至テ頂ニ深紅色ノ葉ヲ

出スヲ云一名春不老通雅還少年薄生秋紅三才

秋色間情還童草同上映日紅汝南百日紅事物後

庭花救荒本草一種脚葉綠色ニシテ秋ニ至テ頂ニ黃

色ノ葉出ルヲ雁來黃ト云花戸ニテ黄カンライト云フ

十樣錦ハニシキサウ、モミヂサウト呼ブ此モ

ハゲイトウノ内ニテ秋ニ至テ紅綠黃紫ノ四色

雜ル者云一名錦西風秘傳錦布衲群芳玉樹後庭

花汝南十錦空明子

天靈草 思真子並詳ナラズ

鶏冠

ケイトウ

一名洗手花群芳杜若葯圃一角雲間情

紫冠蘇氏波羅奢秘傳

俗ニケイトウト呼ブ雞頭ノ意ナルベシ然ル此

花ハ雞ノ冠ニ似タリ雞頭ニハ似ズ唐山ニハオ

ニバズノ實ヲ雞頭ト云雞冠數種アリ一種莖短

ク僅ニ三五寸ニシテ大ナル花ヲ開ク高麗ゲイトウ

又南京ゲイトウチマボゲイトウト云漢名壽星

本草綱目卷之十一 雜考 雞冠

雞冠群芳譜 廣東雞冠 同上一種花ノ形圓ニノ末尖  
ルヲヤリゲイトウ又スギナリケイトウトウト云漢  
名掃帚雞冠花史左編 一種花ノ形扁大ナルヲトサ  
カゲイトウ又ヒラゲイトウトウト云漢名扇面雞冠  
群芳譜 此外ニモ種類甚多シ一種掃帚雞冠ノ形ニ  
ノ花ノ末及傍ニ細枝ヲ出シ其梢各小扇面ノ如  
ナルモノ出テ多ク下垂スルヲミダレゲイトウ  
又ヤウラクゲイトウトウト云漢名瓔珞雞冠群芳譜 一  
種紅黃二色間リ開クモノヲサキワケケイトウ  
ト云漢名二色雞冠花史左編 二喬雞冠 同上 唐山ニハ  
五色相間ルモノアリ五色雲間情偶寄ト云

紅藍花

クレノア井和名 クレナ井和名  
スユツムハナ源氏物語 丹華和方 ベニノハナ  
クレナ井ノハナ雲州ハナ 仙臺紅花  
一名紅蘭事物紀原 紅花菜救荒本草又山丹花未分開カキル者ヲ乾シ食用ニスルヲモ紅花菜ト云  
秋分ニ子ヲ下シ便チ生ス葉ハ細長クノ黃綠色  
長サ二寸或四五寸葉邊及中心ニ硬刺アリ春ニ  
至テ莖ヲ抽テ高サ三五尺ニ至ル其莖ニモ刺アリ  
葉ハ互生ス梢葉ハ拘骨葉ノ如シ夏月枝ノ末  
ゴトニ花ヲ生ス株ヲナシテ蒼朮花株ノ如ク刺  
多シ細辦株上ニ出テ薊花ノ形ニ似リ紅黃色ナ

リ今朝辨ヲツミ采レハ明朝復出此ノ如クスル  
ヲ數日ニシテ盡ク故ニ源氏物語ニ末摘花ト名ク  
辨ヲ摘ニハ必早晨ヲ以テス故ニ集解ニ乘露采  
之ト云リ花後實ヲ椽中ニ結ブ熟シ大サ赤小豆  
ノ如シ一方大り色白ク光アリ唐山ニテハコ  
ノ實ヲ搾リ油ヲ取り燈ニ點ズ又杭州ニテ金ノ  
扇面ヲ偽ルニ銀紙ニ此油ヲ刷キ火ニテ炙リナ  
スト天工開物ニ見タリ藥ニ入ルニハ花辨ヲ  
用ユ即紅花ナリ數種アリゼニバナト云ハ扁ク  
ツク子テ錢ノ形ニナシタルヲ云集解ニ捏成薄  
餅ト云是ナリ是ハ多ク深家ニ用ユ奥州仙臺ヨ

リ出ルヲ上品トス出羽ノ山形之ニ次ク同州谷  
智奥州ノ三春之ニ次ク奥州ノモノハソノ形小  
ニシテ薄シコレハ辨ヲトリテ少ヅハ集メ席ノ上  
ニナラベ其上ニ席ヲ蓋ヒヲモシヲカケ錢形ニ  
造ルモノナリト云肥後ヨリ出ルハ大サ二寸許  
厚サ五分許圓形ニシテ硬シコレハ竹筒中ニ入レ  
擣カクメ出シテ切タルモノナリト云又筑後ヨリ出  
ルハ薄シテ大サ三寸許是ハ奥州ヨリ出ルモノ  
ト其製同シト云又錢バナニ成サズノ辨ヲ摘采  
タルマハニテ出スモノアリコレヲツミナリト  
云又ジバナトモ云唐山ニテコレヲ散花ト云伊

勢美濃ヨリ出ルハ皆ツミナリ也藥ニハ多ク此  
ツミナリヲ用ユ藥肆ニテ陳舊ニメ色ノ變ジタ  
ルヲ藥紅花ト名ケ售ル是甚惡シ新ナルヲ撰ビ  
用ユベシ若シ無トキハ錢バナヲ碎キテホドキ  
花ト云ヲ用ユベシ

番紅花

チャフラン 羅甸サフラン 同上

フロウリス ヌンタアリス 紅毛  
ソウリス花ナリ

コロウクス ヲリエンタアリ 同上  
ヨウキスハ花ナリ

一名 咱夫蘭 獸類羊心  
附方 撒舖蘭 遵生  
八牋

此書ニハ紅花ヲ蜜ニテ製スト云ハ非ナリ番國

ニテサフラント云草ノ花藥ヲトリタル者ナ  
リ舶來アリ形紅花瓣ノ如ク至テ細シ味苦クノ  
施子ノ氣アリ色紅黄ニメ潤多シ年ヲ經レバ漸  
ク乾キ色黒ク香氣薄クナルナリ

燕脂

ベニカタベニウツシベニ 茶盃ニウツシ  
タルモノ

一名 真紅 函史  
法言 紫臘 名物  
異名 桃花粧 事  
物

戈可速 同上 紫臘脂 小兒  
直次 桃花粉 通雅 茜

焉支 胭脂 胭脂 胭脂 胭脂 共  
同上

燕支 北戸  
録

灰汁ト醋トヲ用テ紅花ヲシボリテ紅色ヲトリ

乾シタルヲカタベニト云是方書ニ謂ユル乾燕  
脂ナリソノ青光アルハ青箱灰汁ヲ用ルナリツ  
ヤベニト云偽ルモノハ醋ヲ多ク入テソノ量ヲ  
重クスツヤベニヲ用テ布帛ヲ染ム小椀中ニツ  
ケタルヲウツシベニト云唐山ノ製ハ異ナリ天  
工開物ニ詳ナリ又ベニヲ綿ニ染メタルヲ綿燕  
脂ト云又燕脂ニ粉ヲ雜ヘ銀朱ノ如クシタルヲ  
坯子燕脂附方ト云燕脂坯子竹蠹蟲方書ニ眞坯ト  
云リ又今別ニ和名ニユンジト呼ブモノ藥舗ニ  
アリ深紫色ニシ土塊ノ如シ是ハ蘇木濃煎汁ニ  
石灰蛤粉ヲ合シ調タルモノナリ本條ト迥ニ別

ナリ

集解 胡燕脂ハセウエンジ蟲部紫釧條ニ詳ナリ

大薊小薊

ヤマアガミ大薊野アガミ小薊

大薊一名牛溺刺正字地疔肯啓大成地下香同上

地下草醫學傳大居塞鄉藥本草

小薊一名曹方居塞鄉藥本草茨芥本草猫草事珠

老虎刺同上羅邑居塞村家馬茨芥齊陰綱目

牛巴刺根温州府志

凡ソ大薊小薊ハ形ノ大小ヲ以テ分ツニ非ス山

野ヲ以テ別ツベシ小薊モ肥地ニテ培養スルモ

本草啓蒙 卷之十一 二七 薊

ノハ長大四五尺ニ至大薊モ瘠壤ニ生スルモノハ  
短小尺ニ盈ズ故ニ山生ノ者ヲ大薊トシ野生ノ  
者ヲ小薊トスルノ説ヲ優トスノノ種各別ナリ  
大和本草ニ大薊ヲオニアサミヲニノマユハキ  
ト訓ズルハ飛廉ニ混ジテアシ、山アサミト訓  
ズベシ大薊ハ山中ニ生シ殊ニ幽谷ニ多シ葉形  
大抵小薊ニ同ク刺多ク白斑紋アリ故ニ虎薊  
ノ名アリ苗高サ三四尺許八九月花ヲ開ク形小  
薊花ヨリ小ク唯淡紫色ノミ莖ニ多ク連リテ小  
薊ノ一枝一花ニシテ大ナルニ異ナリ小薊ハ原野  
ニ多ク生スノアザミト呼ブ莖葉ニ刺多シ淡紫

花ノモノ多シ深紫色花ノモノハ少シ今庭ニ栽テ  
花ヲ賞スルモノヲハナアザミト云又マユハキト云  
是モ小薊ナリ種樹家ニハ數十品アリ尋常ノ外  
ニ白花アリ花白ニシテ形大ナルアリ富士ノ雪ト  
云櫻花ノ色ニ似タルアリサクラアザミト云白  
色ニシテ邊紅ナルアリツマクレナ井ト云又ツマ  
ムラサキモアリ黄褐色ナルアリカキ色ト云其  
色浅キアリアケボノト云紅色ノモノアリベニ  
フデト云淡紫色ノモノアリウスミト云此紫色  
ナルアリ春日野ト云深紫紅色ノモノアリクロ  
ベニト云其餘異品多シ釋名ノ中大小薊等ノ名

本草啓蒙 卷之十一 二七 薊

本草綱目 卷之十一 二

ヲ別ツベシ虎薊 馬薊 山牛蒡ハ大薊ナリ貓  
薊 千針草 野紅花ハ小薊ナリ刺薊ハ大小通  
稱ナリ雞項草ハ別物ニシテ大小薊ノ外ナリ水側  
ニ生ス陸地ニ生ス和名サハアザミ葉ハ小薊葉  
ニ似テ岐又多ク刺モ多シ苗高サ一二尺八九月  
ニ至テ莖頂ニ淡紫花ヲ開ク一莖一兩花其花大  
ニシテ皆旁ニ向テ雞首ノ形チニ似タル故ニ雞項  
草ト名ク他薊ノ天ニ朝シテ開クニ異ナリ

續斷

ハミ和名ヲニノヤガラ 同上  
ヲドリコサウ  
ヲドリサウ和名ヲドリバナ  
クルマダグサ豊後

ポルクサウ肥前ト、キ播州  
コモヅウバナ  
カンコバナ城州上  
ヤフソハ筑前ウバカチ佐州

一名槐生詩疏 龍頭同上 槐證類本草

竹林中ニ多アリ八月比舊根ヨリ簇生ス方莖兩  
葉相對シ圓クノ末尖リ鋸齒アリ冬ノ中高サ  
五寸許春二三月ニ至レハ高サ一二尺葉間ニ谷  
ヲ開ク節ゴトニ簇リテ生ス長サ七八分莖ヲ戴  
キ尺八ヲ吹ク形ノ如シ故ニコモヅウ花ノ名アリ  
淡紫色ナリ又白花モアリ夏ニ至リ枯ル根ハ  
枯レズ形至テ細クノ燈心ノ如ク或ハ一分許ナ

本草綱目 卷之十一 二



ルモアリ多簇り生ス是川續斷ナリ舶來ノ者ハ  
 根皆大ナリ是南續斷ナリ其形チ畧薊根ニ似ス  
 ルモアリ故ニ本邦ニテ薊根ヲトリテ賣ル者  
 アリ然レ凡舶來ノ中ニ莖ヲ連ルモノアルヲ見ニ方ニ  
 ノ對生スル寸ハ薊類ニ非ス和産詳ナラズ藥ニ  
 入ルニハ川續斷ヲ良トス集解知景ノ説ニ桑  
 寄生ヲ俗ニ續斷トスルハ誤ナルヲ云フ獨活  
 寄生湯千金方ニハ寄生ヲ用ユ古今録驗ニハ續  
 斷ヲ用ユ卽桑寄生ノヲヲ續斷ト書シタルナリ  
 今人本條ノ續斷ヲ用ユル者ハ非ナリ

苦艾

カマナ以上古名ヲヨシナ以上古名トナチナ加州ヘラアガミ奥州  
 山野共ニアリ好テ溪澗池澤ノ旁ニ生ス繁茂シ  
 ヤスシ葉宿根ヨリ叢生スソノ形一ナラズ小薊  
 葉ニ似タルモアリ又羊蹄葉ニ似テ短ク淺鋸齒  
 アルモアリ皆葉邊及莖ニ刺アリ葉ノ長サ三五  
 寸大ナル者ハ尺餘ニ至ルハ九月莖ノ高サ三五尺  
 枝ヲ分チ花ヲ開ク淡紫色大薊ノ花ノ形チニ似  
 テ旁ニ向テ開ク其苗嫩ナル時食フベシ故ニト  
 チナノ方言アリ

漏盧

本草綱目卷之十一  
 三  
 根方干載

シロガサ アリグサ 古名

一名北漏衛生寶鑑 伐曲大藥 絶穀大村家

漏蘆蒿外臺秘要

集解ニ説トコロ品類多シ先師七種ノ辨アリ熊

谷氏述テ漏蘆考證ヲ著スソノ七種ハ恭ノ説ニ

俗名莢蒿ト云ハ即釋名ニ鬼油麻ト云時珍ノ説

ニ真漏蘆ト云モノ也和名ヒキヨモギ一名ヨモ

ギモドキ淺山向陽ノ地ニ生ス苗高サ二三尺葉

ハ艾葉ニ似テ小ク薄ク花岐多クノ毛茸アリ黄

綠色ニシテ微紫ヲ帯ブ背ニ白色ナシ皆兩對ノ密

ナリ六七月梢ノ葉間ゴトニ花ヲ生ス腐婢ニ似

タリ大サ二三分黄色花下ニ細房アリ長サ五六

分形圓ニシテ堅ニ數稜アリテ胡麻房ノ如ク小

シ故ニ鬼油麻ノ名アリ馬志ノ説ニ似油麻房ト

云モノハ之ヲ指ナリ房内ニ小子多シ罌粟子ヨ

リ小ナリ八月ニ至リ苗枯レ黒クナルヲ象草ニ

異ナリ

弘景藏器ノ説ハ共ニ木藜蘆ナリ毒草類ニ本條

アリ俗名ハナヒリノキ北國ニテアクシヨギト

云小木ナリ頌ノ説ニ單州者云單州漏蘆ハ和

名ヒゴタイ大和本草ニハ平江帶ト書リ唐山ヨ

リ此種渡リシ時此名ヲ書來リシト云リ然レ凡

唐山ノ書ニテ未此名ヲ見ズ花戸ニテハ肥後臺  
 ト云苗ハ春宿根ヨリ叢生ス小薊葉ニ似テ大ニ  
 ノ厚ク刺ナシ長サ二尺許背ニ白毛アリ夏已後  
 莖ヲ抽テ高サ四五尺餘小葉互生ス初秋莖頂ニ  
 花アリ藍紫色ノ小花數多簇リテ毬ヲナス形正  
 圓ニノ山芹菜花毬ノ如ク下ニ萼ナシ大サ寸餘  
 世人多ク七タノ瓶花ニ用ユ古ヨリママホウキ  
 ヲ以テ單州漏盧ニ充ツ穩ナラズタマバウキハ  
 山野ニ多シ葉ハ敗醬葉ニ似テ長大ナリ又紫藤  
 葉ニ似テ花岐アリ一根ニ叢生ス莖ヲ抽ヅル  
 高サ三五尺葉互生ス秋ニ至テ枝頭ゴトニ花ヲ

開ク小薊花ニ似テ紫色刺ハナシ漢名詳ナラズ  
 沂州者花葉頗似牡丹云沂州漏盧ハ即牡丹葉  
 漏盧ナリ秘傳花鏡ニハ秋牡丹一名秋芍藥ト云  
 和名キブ子ギク京師カウライギク讚州八朔牡  
 丹長州アキ牡丹相州カハギク紀州カバギク泉州  
 トウギク大和紫衣ギク三才ハマギク常州シマ  
 ギク越後ムメウサウ南部サツマギク濃州カブ  
 ラギク加州カブロギク勢州シウメイギク同上  
 クハン小松ノンギク播州ランギク同上カラギク越前  
 クサボタン江州  
 山中溪側ニ生ス人家ニモ栽ユ甚繁茂ス城州ニ

本草綱目卷之十一  
 三三  
 根方千載

ハ貴船山中ニ自生多シ故キブ子キクト云春宿  
根ヨリ葉ヲ叢生ス形三枝九葉ニシテ大抵牡丹葉  
ニ類シ夫リテ毛茸アリ夏月莖ヲ抽テ三四尺八  
九月ニ至リ枝頂ゴトニ一花アリ形菊花ノ如ク  
ニ三重ナリ大サ一寸餘初ハ紫紅色後ハ色淡シ  
背ニ白毛アリ花中ニ黄小ハアリ花後實ヲ結ハ  
ス冬ニ至テ苗枯ル春ニ至レハ根鬚ノ末皆苗ヲ  
發スルヲ金沸草ノ如シ

秦州者花似單葉寒菊紫色云云秦州漏盧ハ即釋  
名ノ野蘭ニシテ即救荒本草ノ六月菊ナリ和名ノ  
シユンキク畧ノシユンキクト云同蒿ト同名ナ

リ雞兒腸ノ種類ニシテ深山ニ生ス人家ニモ多ク  
栽ユ枝ヲ挿シテヨク活ス葉ハ雞兒腸葉ヨリ潤  
クシテ深綠色莖紫黑色三月ニ花サク單瓣ニシテ淡  
紫碧色雞兒腸ノ花ニ異ナラズ又白花モアリ  
海州者花紫碧如單葉蓮花云云海州漏盧ハ綿頭  
漏盧ニシテ即山草類ノ白頭翁ナリ和名ゼガイサ  
ウ

時珍ノ説ニ飛廉一名漏盧云云飛廉漏盧ハ即次  
ノ條ノ飛廉ナリ以上七種ノ漏盧ノ内真ノ漏盧  
單州漏盧ハ苗ノ枯レテ黒キヲ以テ名ク秦州漏  
盧ハ莖幹ノ紫黒色ナルヲ以テ名ク木藜盧沂州漏

盧海州漏盧ハ根ノ黒キヲ以テ名ク漏盧古ヨリ漢渡ナシ本邦市人舶來遠志ノ中ヨリ根形粗大ナル者ヲ擇出シ漏盧ト名ク售リ來レリ直根ニ淡黃色此者決ノ遠志ニ非ス明和六年己丑ノ頃ヨリ舶來ノ漏盧ノ京師ニ賣ル即遠志中ヨリ擇出者ニ異ナラズ根ノ長サ五寸許皆蘆頭ニ鬚アリ偶枯葉ノツキタルアリテ諦視スルニヒゲタイニ異ナラズ故ニ單州漏盧ヲタマボウキトスル説ヲ改テヒゴタイトス

飛廉

シソノキ 和名 フホ、テクサ 同上 オニノマユハキ

オニアガミ 紙ヤハズアザミ ヒレアザミ

一名 飛廉蒿 附方

夏ノ末子生ス葉ハ小薊葉ニ似テ黃綠色刺多シ秋冬ハ地ニ就テ叢生ス春ニ至リ漸ク莖ヲ抽テ三五尺ニ至ル枝葉共ニ互生ス莖ニ薄キ羽數條起リテ鬼箭羽ノ如ク更ニ刺多シ陶氏ノ説ニ葉下附莖輕有皮起似箭羽ト云是ナリ夏ニ至テ枝ノ末ゴトニ花ヲ開ク小薊花ニ似テ小ナリ見ニ足ラズ花後白絮トナリ風ニ隨テ飛ブ絮ゴトニ一子アリ落ル處即生シ苗根共ニ枯ル白花ノ者ハ多アリ紫花ノ者ハ少シ

苧麻

カラムシ和名マオカツホウ豫州

シロオ土州和方衣草和方シラノ雲州

ヤマン宛州シロノ肥前シロハ

シロホ同上ヒウジ播州

一名青麻附方青花麻千金方

他國ニハ苧麻ヲ栽テオヲ採ル京師ニハ栽ルモ

ノナシ野生多シ山苧野苧ナリノマオト呼ブ又

グロウジ城州ハヅ豫州ノ名アリ採テ圃ニ栽レハ

苧麻トナル春宿根ヨリ生シ一根叢生ス高サ四

五尺葉互生ス形楮葉ニ似テ岐ナク背白シ集解

ニ謂フトコロノ形状ヨク的當ス頌ノ説殊ニ詳

ナリ夏葉間ニ穗ヲ生ス苧ナラ樹花ニ似リ一穗數

枝花最碎小ナリ開ク寸ハ細黄粉散落ス後細子

ヲ生シ下垂ス落テ自ラ苗ヲ生ス此皮ヲ剥ギ水

ニ漚シテ外ノ粗皮ヲ去リ内ノ白絲ヲ取り夏布

ノ用トスコレヲ柰良ソト云南都ニテ此オヲ以

テ布ヲ織リ晒シテ四方ニ貨ス白苧ト云越後ニ

テ織ルモノ最上品トス野苧麻葉ヲ乾シ揉テ綿

ヲ取用テ能血ヲ止ムノ根打撲腫痛ニ効アリ

生根ヲ採リ薑擦ニテ研リ紙ニノベ痛處ニ貼レ

ハ骨節ノ痛ヲ治ス蒴藿接骨木ノ煎湯ニテ洗フ

本草綱目 卷之十一 三十四 麻 苧麻

ニ勝レリ一種ヤブマオアリ路旁ニ多シ葉苧麻  
ヨリ大ニシ兩對シ背ニ白毛ナク皮ニ絲ナシ其  
穂粗ク直立ス此類數多シ一種アカソト呼者  
アリ一名サ、ヤキグサ、キ、シグサ、シ、ヤ  
キグサアリ皆同名アカバシラ豫州アカダ仙臺タモ  
南部クチエ同上アカワタ越後山野共ニ生ス葉  
ノ形野苧ニ似テ小シ大サ二三寸莖赤ク兩對  
ス葉間ニ花ヲ開ク苧麻穂ニ似リ是ニハ皮ニ絲  
アリ奥州ニテハ織テ足袋及頭巾ニ製ス此絲ヲ  
南部ノ方言ニクチエオト云頭巾ニ製シタルヲ  
アカダ帽子仙臺クチエボツチ南部アカワタホ

ウシ白川ト云風ヲ透サズト云ヘリ市人コノ草  
ノ根ヲトリテ紫大戟ニ偽リ野苧麻根ヲトリテ  
大戟ト名ク售ル皆大戟ノ偽物ナリ

苧麻

イナビ攝州カナビ豊前  
シナノオ伊賀

一名苧朮藥性要

春種ヲ下シテ秋後根枯ル苗高サ六七尺葉圓大  
ニシ末尖リ鋸齒アリ桐ノ葉ノ形ノ如ク薄ク軟  
ニシ毛アリ互生ス夏月葉間ニ花ヲ開ク五瓣黃  
色大サ錢ノ如シ朝ニ開キ暮ニ衰フ花後實ヲ結

本草拾遺 卷之十一 三十一 銀花干藏

本草綱目 卷之十一 三十一 藥部 麻  
グ半磨ノ形ノ如シト時珍云リ石ウスノ半分ノ  
如キ形ナリ圓ニシテ高サ五分許濶サ六七分上廣  
ク下微狹クシテ小莖アリ頂ハ凹ニシテ粗キ菊紋アリ  
リ外ニハ豎ニ稜多シ是扁莢多ク圍ミ並テ此形  
チヲナスナリ救荒本草ニ蘇饅頭ト名ク初ハ綠  
色熟スレバ黑色中ニ子アリ形黃蜀葵子ニ似タ  
リ古ハ藥舖ニ此子ヲ以テ破故紙ト爲シ售シ  
アリ形似タル故ナリ今ハ否ズ此草ノ皮ヲ剝ギ  
繩索トス既ニ皮ヲハギタル措ク江戶ニテホク  
チガラト云白クシテ輕虛ナリ奥州仙臺ニテモ燒  
テ炭トナシホクチト云又一種イチビト呼草アリ

リ阿州ニテイチブト云勢州ニテツナフト云沿  
海ノ地ニ多ク栽ユ苗高サ三五尺葉細長ク濶サ  
寸餘長サ三寸許鋸齒アリテ末尖リ葉ノ本ノ左  
右ニ一ノ細枝アリテ角ノ如シ花實ハ苧麻ニ似  
テ小ク子ハ苧麻ニ異ナリ胡麻ニ似テ小ク扁ナ  
ラズ大和本草ニ詳ナリ是胡麻集解ニ謂ユル黃  
麻子ニシテ大麻ト同名ナリ  
**集解** 焯燈ハツケギ京ニテハ訛テイワウト云一  
名引火奴廣諧史引光奴輟錄  
苧字イチビノ時ハ音項貝母ノ時ハ音萌正字通  
ニ據レバイチビノ時ハ苧ニ作ルヲ本字トス

本草綱目 卷之十一 三十一 藥部 麻



大青

ハトクサ延喜式クルクサ和名

大青小青ノ二條集解ニ説トコロノ草ハ皆和産  
詳ナラズ先師充ル所ノ説亦穩ナラズ蓋シ古ヨ  
リ方書ニ用ユル所ノ大青小青ハ皆藍ノ葉ニシ  
別ニ草アルニ非ズ故ニ集解ノ説ハ今皆取ラズ  
醫學正傳ニ藍葉即大青葉ト云本經逢原ニモ藍  
實大青小青ヲ一條トシ大青小青ヲ藍實ノ葉ト  
ス宜ク此説ニ從フベシ然レ其大小青ノ形状  
ヲ説ニハ誤リアリ從フベカラズ大抵大小ヲ分  
テ言ハ藍ニ二種アリテ葉大ナル者ヲ大青ト云

即菘藍ナリ一名大藍葉小ナル者ヲ小青ト云即

蓼藍ナリ一名小藍ニシテ青ハ藍ノ字ノ書カヘ

ト見ルベシ又書ニヨリテ蓼藍ノヲ大青ト言

ルヲモアリ本經逢原ニ本經所用藍實乃大青之

子是即所謂蓼藍也ト云今漢種浙江大青ト云者

即蓼藍ナリ江南大青ト云者即菘藍ナリ菘藍蓼

藍ノ形状ハ十六卷藍ノ條下ニ詳ニス又鴨跖草

ニモ大青小青ノ二名アリ遠志ヒソキ花ニモ大青ノ名

アリ

小青

説前ニ詳ニ見ス

本草綱目 卷之十一 三 大 根 考 軒 載

胡盧巴

一名腎曹都尉 藥譜 腎曹都護 輟耕錄 胡巴 萬病回春

世人禹錫ノ番蘿蔔子ト云語ニ據テ南蠻大根ノ實ト訓スルハ非ナリ蘿蔔ノ類ニ非ス舶來ノモ

ノ真物ナリ享保年中唐種ヲ傳テ今ハ多ク栽ユ春秋下種ス苗高サ一尺許或ハ三四尺葉ハ一蒂

三葉ニノ苜蓿葉ニ似テ微窄シ互生ス夏葉間ニ一花ヲ開ク小ニノ白色未タ開ザル寸ハ微シク

黄色ヲ帶ブ形胡枝子花ニ類ス花後細莢ヲ結ブ長サ二三寸内ニ小扁子アリツノ形色舶來ノ者

ト同ジ初微ク青シ年ヲ經レバ淡黃褐色大サ一

分ニ過ズ莢熟スレバ根枯ル莖柔弱莢ヲ結ヘバタヲレヤスシ

蠶實

ハリン ハレン トウラン 江州

子ヂバリン 筑前 子ヂアヤメ 紀州

子ヂガ子 尾州

一名紫蘭 汝南 掃帚 通雅 掃帚草 救荒野譜

蠶實草 同上 馬蓮花 續醫 馬蓮草 藥性要畧大全

馬練花 宣明方 馬練草 盛京通志

人家庭際ニ多ク栽ユ最モ繁茂シヤスシ山野ニハ自生ナシ葉ハ溪蓀葉ニ似テ細ク厚ク中心殊

本草綱目 卷之十一 三十九 蝦蟇科

本草綱目 卷之十一 三十九 藥部 雜考

ニ厚シ徑リ三分長サ二三尺一根數百葉綠色ニ  
ノ微白ノ帶ブ二三子チレタルモノ多シ秋ニ至  
テ葉枯ル其根細クメ硬ク強シ唐山ニテハ此根  
ヲ束テ物ヲ洗フニ用ユ年ヲ歷テ腐ラズ故ニ馬  
帚馬刷ノ名アリ春ノ末宿根ヨリ新葉ヲ生シ長  
サ數寸ノ時叢葉中ニ數莖ヲ抽ツ高サ一尺許其  
梢ニ花ヲ生ス淡紫碧色六瓣ナリ其三瓣ハ大ニ  
メ三瓣ハ小ク全ク溪蓀花ニ異ナラズ惟辦小ク  
メ狹シ花後莢ヲ結ブ燕子花ノ莢ニ似テ小ク内  
ニ小扁子アリ色赤シ是藥用ノ蠶實ナリ藥舖ニ  
テ燈心草根ヲ馬蘭ト稱メ售ル大ニ誤ナリ和俗

蘭ノ字ヲ井ト訓ズル故ニ誤ルナリ釋名ニ救荒本  
草鐵掃帚ヲ併セ入テ馬蘭ノ一名トスルハ非ナ  
リ馬蘭モ鐵掃帚ノ名アレト救荒本草ノハ別物  
ニシメトハギナリ著ノ條下ニ詳ニス

附録 必似勒 詳ナラス

惡實

一名 黍粘子 醫學正傳 苦牛蒡子 採取月令 惡疾 寧波府志

牛蒡 痘科 芋芳 訓蒙字會

釋名ノ牛蒡蒡翁菜牛菜ハ苗ノ名ナリ和名キタキ  
ス 和名ムマフ、キ 同上ゴボウ今名ゴンボ形状

本草綱目 卷之十一 四十一 藥部 雜考

本草綱目卷之十一 菜部

ハ常ニ見ル所ナル故略ス根ヲ食用トス處處ニ  
名産アリ京師ニテハ八幡牛蒡北山牛蒡堀河牛  
蒡相國寺牛蒡アリ上野ノ行田加州ノ井戸下總  
ノ大浦伯州ノ米子江州ノ多賀筑前筑後久留米  
武州ノ岩築結城忍土州ノ大内豫州管澤大洲ノ  
ノ餘諸州ニ名産アリ

菜耳

ヲナモミ ヲムマノ、ミ 越前 ナモミ 雌雄  
總名

一名 野落蕨 醫學集要 胡寢子 大倉志 瑞草 埤雅

羊帶歸 醫學入門 隻刺 千金方 升古休伊 採月令

吐叱古个里 村家 胡寢草 寧波府志

天此草ヲ國ニヨリテメナモミト云其實大ナル故  
子沙然レ庄非ナリ野生多アリ春生シ秋後根枯  
ル葉ハ茄葉ニ似テ刺ナク紫色ナラス互生ス莖  
高サ三五尺瘠地ノモノハ短シ夏月莖頭ニ白花  
ヲ開キ實ヲ結ブ形桃葉珊瑚實ニ似テ小ク兩頭  
尖リテ硬キ刺多シ熟スレバ衣服ニ粘着ス故ニ  
羊負來ノ名アリ此實毛種ニツキ來リタルヲ藥  
ニ用ルヲ附方ニ種中蒼耳ト云秋末ニ至テ苗根  
共ニ枯ルソノ實地ニ落ルモノ春ニ至テ自ラ  
生ス

釋名 卷耳此ニハ詩經ヲ引テ菜耳ノ一名トス然

本草綱目卷之十一 菜部 四二 銀坊軒藏

レ此別物ナリ詩經ノ卷耳ヲ註スル者葉ノ形チ  
 鼠耳ノ如シト云ト實ノ形鼠耳ノ如シト云トノ  
 兩説アリ葉ノ説ニ從フヲ勝レリトス時珍ハ實  
 ノ説ニ從テ葉耳ノ一名トス穩ナラズ卷耳ハミ  
 ミナダサ子ヅミノミ、子コノミ、備ホト  
 ケノミ、能州葉形鼠耳ニ似テ大サモ然リ深緑  
 色冬枯レズ冬春ノ間ハ莖紫色ヲ帶ブ兩葉對生  
 シ地ニ搗メ茂ヌ二三月莖頂ニ數枝ヲ分テ小白  
 花ヲ開ク繁縷ノ花ノ如シ花後小莢ヲ結ブ熟ノ  
 苗根枯ル子落秋ニ至テ生ス  
 天名精

イヌノシリ古名イノシリグサ同上  
 ハマフクラ和名ハマタカ法同上  
 ヤブタバコ今名キツ子ノタカ法同上  
 イノヅリ勢州  
 ハイグサ播州  
 一名天麻炮炙大法皺面地蔥花發明雪裡青類案  
 荔枝草同註長青草同註過冬青先醒齋廣筆記  
 癩蝦蟆草外科正宗狐矣尿本草皺皮草丹溪心法附餘  
 觀證類本草鹿活草酉陽雜俎  
 鶴虱一名鵝虱本草原始  
 多ク野生アリ人家ニモ生ス初ハ地ニ就テ叢生

本草綱目 卷之十一  
ス烟草葉ニ似テ小ク鋸齒皺毛臭氣ヲ以長サ尺  
餘夏秋ノ間ハ莖高サ二三尺ニ至ル葉互生ス  
葉間ニ花ヲ開ク野菊花ノ心ノ如ク黄色ナリ  
萼ハ綠色葉間ニ一花ノ生スル年又多ク  
攢簇スルモアリ此實草鶴虱トシ根ヲ牛膝  
スト云然レ元ト本草ニハ天名精下鶴虱ト別  
條ナリシヲ時珍綱目ヲ著ス時沈存中ノ説ニヨ  
リ唐本草ノ鶴虱ヲ併入テ一物トス故ニ古鶴虱  
ト云ハ天名精ノ實ニ非ザルヲ藥性纂要ニ辨  
ジソノ形狀モ詳ニ説ケリトテ鶴虱ハ即俗ニヤ  
ブジラミト呼ブ者ニ此實ヲ今藥舗ニ蛇床子

ト名ケテ貨ス然レ凡殺蟲ノ功ナシ葉ハ胡蘿蔔  
葉ニ似タリ故ニニンジント呼ブ實ハ熟ノ人  
衣ヲ著ク故ニヤブジラミト云寛政己年舶來ノ  
鶴虱モ此ト同ジキ時ハ藥性纂要ノ説ヲ是トス  
ベシ天名精ノ實ヲ鶴虱トスルハ非ナリ  
稀發

メナモミ イシモチ 勢州モチナモミ 古方書  
秋ボコリ 石州

一名 希賢草 醫學集要 火焮 通雅 稀仙 品字 箋

白花菜 道生 八牋 蟾矣 衿 鄉藥 本草

國ニヨリテ此草ヲオナモミト云武藏筑前モ然

本草綱目 卷之十一 四三 麥之類  
 リ故ニ大和本草ニモオナモミト訓ス并ニ方言  
 ナレハ混ジ易キ故蒼耳ヲオナモミト訓ズベシ  
 穉發ハ原野ニ極テ多シ宿子地ニアリテ春苗ヲ  
 生ス方莖ニノ枝葉兩對ス葉形圓尖ニノ鋸齒アリ  
 リ莖麻葉向日葵葉ニ似テ薄軟ニノ毛茸アリ莖  
 ノ高サ三四尺秋枝端ゴトニ花ヲ開クノ莖五  
 ツニ分レ細長ク厚クノ毛アリ毛粘滑ニノ手ニ  
 著易シ莖ヲ連テ花ヲ取りテ地上ニ落メ提レハ  
 砂土粘著ス故ニイシモチノ名アリ此莖上ニ小  
 椀アリ椀上ニ花ヲ開ク瓣最小ニノ黄色天名精  
 花ニ似テ小ナリ花衰テ椀内ニ實ヲ結ブ同蒿子  
シヨニキクノ

ヨリ細ク天名精子ヨリアラシ熟メ苗根共ニ枯  
 ル

附録類鼻 詳ナラズ 羊屎柴 詳ナラズ 雜草  
 類ニ重出アリ

箬  
 チマキザ、クマガザ、子マガリダケ 羽州

一名 白莢葉 三因方  
 葉ノ大ナルサ、ナリ城州貴船山鞍馬山ノ奥ニ  
 多シ苗高サ六尺餘葉潤サ二寸長サ八寸許リ端  
 午ニ此葉ヲ用テ粽ヲ包ム故ニチマキザ、ト云  
 唐山ノ箬葉ハ至テ長大ナル故笠ニモ製スト時

珍云リ此ヲ箬笠ト云 本邦ニテハ竹箬ヲ用テ  
 笠ヲ作ル此モ漢名箬笠ト云竹箬ニモ箬ノ名ア  
 ル故ナリ又高山ノ頂ニ多生スルサハ皆高サ  
 二三尺葉ハ箬ヨリ小ク徑リ一寸許長サ七八寸  
 老レバ葉邊皆白シ故ニヤキバザト云是竹ノ  
 條ニ載スル所ノ山白竹ナリ又路傍ニ徧ク生ス  
 ル小ナル竹アリ高サ三五寸ニ過ギズコレヲ子  
 ザト云是通雅ニ載スル所ノ千里竹ナリ

蘆  
 ヒムログサ タマエグサ ナニハグサ  
 サバレグサ ハマヲギ 以上古アシ 和名  
歌名

一名蒲蘆 琅邪代醉 華 爾雅 蕨 通雅 蕨 同也

葦子草 訓蒙字會

水邊ニ多ク生ス春舊根ヨリ苗ヲ生ス初メ出ル  
 時筍ノ如シ唐山ノ人ハ採リ食フコレヲ蘆筍ト  
 云然レ凡南土ノ者ハ堅クメ食フベカラズ北土  
 ノ者ハ柔ニメ食フベシ今清商食用ニ持來ル者  
 長サ三寸許ニツニ割テ蒸シ乾シタルモノ也是  
 ヲ水ニ浸シ煮食フ苗長スレバ高サ丈餘枝ナシ  
 葉ハ竹葉ニ似テ長大互生ス秋ニ至テ莖梢ニ穂  
 ヲ出ス菅ノ穂ノ如クニメ枝多シ長サ一尺餘秋



本草綱目 卷之十一 四十一 蘆葦類  
ノ末莖葉共ニ枯ル一種莖幹至テ粗大ナル者ヲ  
鷄殿ノヨシト云攝州島上郡鷄殿邑ノ名産ナリ  
莖ヲ用テ算策ノ義嘴ニ作ルコノヨシハ證類本  
草蘇頌ノ説ニ深碧色者謂之碧蘆ト云者ナリ集  
解ニコノ説ヲ引ケ凡謂之碧蘆ノ四字ヲ脱セリ  
宜シク補フベシ  
萩 ヲギ ヲギヨシ凡云フ古歌ニハ ヲギヨシ、グ  
サ ヤマシタグサ カゼキ、グサ トハレグサ  
子カラグサ ノモリグサ メサマシグサ ツ  
ユヤグサ 子サメグサ カゼモチグサト云水  
邊ニ生ス陸地ニ移ノ繁殖シヤスシ大抵菅茅ニ

似テ長大ナリ其莖蘆トハチガヒ肉厚クノ中ニ  
小孔アリ花モ菅茅花ノ如ニメ長大ナリ初ハ淡  
紫色後漸ク白色ニ變ル秋深テ苗枯ル一名萩子  
草訓蒙  
字會  
兼 ヒメヨシ一名ヨシモトキ スダレヨシ  
カナヨシ 仙臺ヒヨヒヨ 濃蘆ノ一種形小ナルモノ  
ナリ此條下ニ蘆萩兼三品ヲ分チ釋スルノ諸説  
皆可ナリ惟時珍ノ説不可ナリ萩ト兼トノ註相  
反スレバナリ夢溪補筆談曰蘆葦葭蘆也亂荏莢  
萩也通雅曰莢亂荏萩兼一也葭蘆葦一也トコノ  
二書ニヨリテ分別スベシ然レ凡通雅ニハ兼ヲ

本草綱目 卷之十一 四十一 蘆葦類

荻ニ混ス誤レリ蘆荻共ニ名多クノ紛ハシ故ニ  
初長成ノ三ツニ配ノ分ツベシ葭ハ初生ナリ蘆  
長ナリ葦ハ已成ナリ而ノ蘆ハ其總名ナリ荻ハ  
初ナリ蘆ハ長ナリ葦ハ成ナリ而ノ荻ハ其總名  
ナリ

甘蔗  
ハセヲハ和名ニハミグサ名古歌バセラ今名  
ウドンゲ東鑑花名

一名苞苴異名 扇子群芳譜 扇子事物  
草帝同上 綠參差同上 傳且同上

翠旌名物 綠天秘傳 羅襦鬼聯車志

元來和産ナク南方ノモノ故ニ寒ヲ畏ル唐山ニ  
テ南方ニハ品類多ク北方ニハ只一品ト云 本  
邦モタゞ一品ナリ花ヲ生スレバ旁ヨリ小苗ヲ  
生シ本根ハ枯ル東鑑ニ此花ヲ優曇花ト云年ハ  
ハ花サカガル故ナリ恭モ經六年方有花ト云花  
ノ形最大ナリ一尺餘ノ長サノ粗クノ節多キ莖  
下垂メ其端ニ一花アリ黄白色ニ蓮花ノツボ  
ミノ形チノ如シ集解ニ似倒垂齒莖ト云ハ是ヲ  
指ナリ花瓣多ク數十重アリ一日ニ只一瓣開キ  
落ツ瓣ゴトニ中ニ藥多アリ實ハ莖ノ本ニ連リ  
生ス長サ一寸許徑五六分五稜ニノ綠色熟セズ

ノ落ツ北間者、但有花無實ト云是ナリ嶺南ニハ  
紅熟シ米穀ニ代ルモノアリト云本邦古ハ庭  
ニ栽ルコト忌故ニニハミグサト云唐山ニモ屋  
内不可多種芭蕉久而招崇ト遵生入牋ニ見タリ  
集解紅蕉和名モ美人蕉ト云一名ヒノバセウ琉  
球ヨリ來ル苗芭蕉ニ似テ小シ葉モ狭ク短シ花  
ハ紅ニシテ朱ノ如シ形囊荷ノ花ノ如ク狭瓣三寸  
許左右互生スルコト四五寸觀ニ堪タリ秋ノ末  
ヨリ土窖ニ入ザレバ枯レ易シ

囊荷

和名メウガ

一名九葉芸香

江南通志

韭葉芸香

雲南通志

樽苴群芳譜

山谷或ハ竹木林中ニ多生ス人家ニモ栽ユ春宿  
根ヨリ苗ヲ生ス形狀大抵生薑苗ニ似リ高サ二  
三尺根ノ旁ニ花ヲ生ヌメウガノコト云形筍ノ  
如ク長サ三四寸採テ食用トス味辛シ夏メウガ  
秋ノウガノ二品アリ花ノ生ズル時節ニ因テ分  
ツ夏メウガハ色赤シ秋メウガハ白ノ肥大ナリ  
又稀ニ赤キ者アレ色淺シ唐山ニテハ囊荷ト  
芭蕉トヲ誤リ混ズルコトアリ故ニ本經逢原曰囊  
荷即芭蕉之白者ト正字通ニ揚慎丹鉛錄注急就

章註謂考之本草藁荷即今甘露甘露即芭蕉不知  
芭蕉非即藁荷揚說誤レリト云藥店ニ此草ノ根ヲ採  
リ水飛シ粉トナシ茗石ト稱シ眼科ノ藥トス

麻黃

カツ子グサアマナ 共ニ和名

一名中黃節士 録耕 赤根 瘡瘍全書

和産未ダ詳ナラズ多ク舶來アリ朝鮮ニモ古ハ  
ナシ唐山ヨリ移シ裁テ今ハ江原道慶尚道ニ之  
アリト東醫寶鑑ニ見タリ海邊沙地ニ一根叢生  
ス形木賊ニ似テ至テ細ク中ノ孔甚小ニノ實ス  
ルカ如ニシテ黄色ナリ葉ナク莖ノミニノ節アリ

リ節ゴトニ寸許下節ニ枝ヲハカツ舶來ノ中ニ

稀ニ花ノ着タルモ實ノ着タルモアリ其實ノ形

蘇頌ノ説ノ如シ外ニ皮アリテコレヲ包ム故ニ

如百合辨ト云潤サ一分許長サ一分餘ソノ肉ニ

子アリ形蕎麥粒ノ如ニ小シ三角ニノ色モ同

其根徑寸許長サ數尺黄赤色ナリ今市人イヌド

クサヲ以テ真ノ麻黄トス然レモコノ草ハ實シ

結バズ故ニ麻黄ニ非ズイヌドクサハ一名スギ

ドクサ 江スギナドクサ カハラドクサ ハマ

ドクサ ミヅドクサ 種樹 チヤウセン ドクサ 同上

谷地スギナ 仙臺 水邊 沙地ニ多シ 形狀 問荊ノ如ニ

ノ枝少シ枝ナキモノ多シ年ヲ歴レハ粗大ニシテ  
徑リ二三分長サ四五尺ニ至ル乾セバ輕虚淡綠  
色ニシテ麻黄ノ形色ニ異ナリ質薄ク中ノ空虚  
廣キ故ナリ夏月中心ヨリ出タル莖端ニ花アリ  
筆頭菜ニ同クノ實ヲ結バズ是問荆ノ一種ナリ  
次ノ麻黄ニ非ズ本草原始ニ麻黄莖類節節草ト云  
又舶來麻黄中ニイヌドクサ多ク雜ル時ハ河原  
ドクサハ節節草ナルベシ此草根深ク土中ニ入  
ルト問荆ト同シ大サニシテ色黒シ麻黄根ノ黄赤  
色ナルニ異ナリ

附錄 雲花子 詳ナラズ

木賊

トクサ

一名 銼草 盛京通志

山谷水邊ニ生ス人家庭際ニモ多ク栽ユ苗ノ形  
麻黄ニ似テ大ナリ徑二分餘箸ノ如シ直立スル  
ト二三尺叢生ス色深綠ニシテ束鍼道アリ糙澀ニ  
シテ木骨ヲ磋スベシ寸餘コトニ節アリ夏月莖梢  
ニ花ヲ發ス筆頭菜ニ同シコノ草莖ニ枝ナシ若  
シ梢ヲ摘去ル寸ハ節ニ對ノ細枝ヲ生ス今梓人  
用ル所ノ者ハ鹽湯ヲ以畧煮過シテ乾シタルモ  
ノ故藥用ニ入ルニ堪ズ生ナルヲ乾シテ用ユ

ベシ一種木ドクサハ形長大ニノ節ゴトニ枝ヲ生ス又レダマモ木ドクサト云同名ナリ

附録問荆スギナマツナ筑前トウナマツブキ播州ツギグサ仙臺

一名蕒爾牛脣上水蕒爾雅續斷通志

相思草述異斷腸草愁婦草霜草

察莎同上蕒菜毛詩水鳥釋文

水邊沙地ニ多ク叢生ス春舊根ヨリ先ツ花ヲ生

ス莖高數寸梢ニ花アリ筆頭ノ形ノ如シ故ニ筆

頭菜ト名ク慶陽府志ニ見タリ花ノ名ヲフデツ

木古グサ歌フテツバナ同上ト云今ハツクツクシト云

ツクシ東國ホウシ豫州ホウシ雲州ツクク和州

ホシ讚州嫩時二三寸ナルヲ早春食用ニス今ハ

冬ノ中ヨリ出ス花終テ葉出ツ是スギナ也形イ

ヌドクサニ似テ細ク短クノ八九寸節ゴトニ細

枝簇生ス是モ嫩ナルトキ食ヘシ此根黒色土ニ

入ルコヒゲ甚深クシテ本根ハ掘リ得難シ

石龍芻

一名草毒證類公明草揚升菴席草本經

席上草藥性要石龍福州

水田中ニ種ユ燈心草ノ類ナリ燈心草ヨリ細ク

本草啓蒙 卷之十一 五十一 浪芳軒藏

ノ短シ長サ二尺許リ備後福山ヨリ席ニ織リ出  
ス備後席ト名ク其草纖細ナル故席至テ緻密ナ  
リ草短キ故席中ニテ續キ織ル故ニ中ツギ凡云  
席中ノ上品ナリ近來豊後邊ヨリモ織リ出セ凡  
草粗ニ備後ノ産ニ及バズ

龍常草

タツノヒゲ 江州

カンズノキ 種樹キリノスサウ和漢三

ノスノキ 同上

野生路旁ニ多シ小草ナリ其葉至テ細クノ絲ノ  
如シ長サ二三寸一根數百葉叢生ス綠色ニノ白

ヲ帶ブ必陽地ニ生ス草中ニ雜リ生ル者ハ葉長  
クノ尺ニ至ルモノアリ根ハ赤色ニノ細シ四月  
叢葉中ニ數莖ヲ抽高サ二尺許節ゴトニ葉ヲ互  
生ス其葉大ニノカモシ觀草葉ニ類シ脚葉ニ異ナリ  
莖ノ梢ニ枝ヲ分チ長キ穂ヲナス知風草ノ穂ニ  
似テ葉ト同色ナリ花後實ヲ結ビ莖枯テ新葉ヲ  
生シ舊葉代ル

燈心草

井古名 井グサ 仙臺 ユグサ 南部 アミ 勢州

ヒメスコ 薩州

穰ノ名ハ トウシニ 和名 トウシン

本草字彙 卷之十一 五十二 辰芳軒藏

本草綱目 卷之十一 五十三 燈草

トウシスミ 勢州ジミ 肥前トウジミ 同上

トウシメ 南部トウスン 雲州井ノミ 佐州

一名 燒底賤錦袖中 古し心本藥 席草藥性要畧大全

燈草本草原始

原野下濕及池澤ノ旁ニ多シ自然生ハ皆苗短細ナリ江州ニテハ冬ヨリ夏ニ至マデ水田ニ栽ユコレヲ燈草井ダト云シノ草長大ニメ五尺ニ及ブ采テ席ニ織ルヲ近江席フモテト云其席備後席フモテニ比スレバ甚粗ニメ下品ナリ草長キ故ニ中ニテ繼ガス丹波ヨリモ此席ヲ織リ出ス丹波席フモテト云又此草中ノ白穰ヲ出シテ燈火ニ供スルヲ燈心ト云

ソノ皮ヲ井ガヲト云糝ヲ紮ルニ用燈心ニ熟草生草ノ別アル一宗奭ノ説ニ云リ煮テ心ヲ出スヲ熟草ト云煮ガシテ心ヲ出スヲ生草ト云藥ニハ生草ヲ佳ナリトス今常用ノ者ハ皆熟草ナリ

附方 燈花燼 チヤウジガシラノホクソナリ

本草綱目 卷之十一 五十三 燈草





